

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート かしのみ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月19日		令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和8年2月25日		令和8年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個室スペースを作り宿題や集中したい時に利用できるようにしている。	完全に仕切るのではなくカーテンを使って職員がすぐに入れるようにしている。また、子どもからの質問にも職員が中に入らずに会話できるようになっている。	完全個室でないで外部からの音がよく聞こえる。できる限り外部の音を遮断できるように検討している。
2	社会生活能力向上のための訓練の充実 (公共マナー、社会体験、社会自立、礼儀作法等)	土、祝日及び長期休みを利用して公共マナーの習得や工場及び官公庁等を見学し社会体験することで徳島で生まれ育ったという意識を持ってもらえるように活動している。	昔から伝わる伝統を教えていきたいと思っている。施設外活動を通して学べる場を増やせるよう、情報収集を行う。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職の配置(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)	児童指導員、保育士の配置のみである。専門職員の配置を考えてはいる。	求人専門職員の項目も検討していきたい。 現在の職員でできる療育手段として、デジタル機器の活用や療育素材の開拓を進めていきたい。
2	店舗を再利用しているため床が固く冬場足元が寒い。	足元が固く転倒時にけがのリスクが大きくなる。店舗再利用でありスペースが広くつい、走ってしまうケースがある。	遊び方、過ごし方を伝え続けることで、かしのみでの過ごし方を理解する。
3			